

# 生活協同組合の取り組みと課題

2024年1月22日

山形大学人文社会科学部寄附講座



- 第1節. 生協の仕組み
- 第2節. 新型コロナウイルス感染拡大下の生協の取組みとその後
- 第3節. 生協の抱える課題

山形県生活協同組合連合会

1

## 第1節

### 生協とは、生協のしくみ・・・簡単に説明

せいきょう（生協）という名称から  
生活協同組合→略して生協  
英語の略は CO-OP (CO-OPERATION)

比較 ACOOP は農業協同組合 略して農協  
AはアグリカルチャーのA

生協は、店舗や宅配、病院、介護施設などを利用したい人がお金を出し合い(出資)、それらの運営に係わります。その運営で得られた利益は組合員に還元されます。

2

### \* 生協のしくみを簡単に説明

株式会社は、通常出資者(株主)、利用者(顧客)、運営者(取締役)とそれぞれ別株主が必ずしもその会社を利用するとかぎらないし、経営に参加するとも限らない

生協は出資者(組合員)、利用者(組合員)、運営者(組合員)

図は福井県民生協のHPより

3

### いろいろな生協

事業活動によって生協の種類を分類すると

- ★購買生協(スーパーや宅配事業を行う)  
県内には、山形大学生協、生協共立社、生活クラブやまがた生協、山形県学校生協
- ★医療生協(病院や診療所の運営を行う)  
医療生協やまがた、酒田健康生協
- ★福祉生協(介護施設や訪問介護事業を行う)  
山形県高齢者福祉生協
- ★共済生協(共済事業を行う)  
こくみん共済coop山形県本部

活動エリアによる分類

- 地域生協(生協共立社、生活クラブやまがた)
- 職域生協(山大生協、山形県学校生協)

4

## 県生協連加盟生協の規模

県内全世帯のうち40%が生協の組合員組合員  
 2023年12月現在山形県の総世帯401,466世帯 購買生協と医療生協、学校生協の組合員は重複する場合があるが、世帯数の4割である16万世帯が県内のなんらかの生協に加入している。

			2022年度末
組合員 万人、出資金億円、事業高億円			
会員	組合員 (人)	出資金 (百万円)	事業高 (百万円)
酒田健康生協	13,236	361	634
生協共立社	162,541	4,179	20,464
医療生協やまがた	40,981	2,828	7,093
やまがた福祉生協	4,568	62	322
山形県学校生協	11,179	410	68
生活クラブやまがた	9,520	611	1,367
山形大学生協	11,353	224	1,332
労済生協			
JAあまるめ	1,392	780	1,517
合計			

(注) JAあまるめの事業高は純利益です。  
 (注) 労済生協（こくみん共済coop）の事業高は経常収益です。

5

## 生協の事業活動

### 店舗の経営



山形市コブひがしはら  
 スーパーマーケット形態

### 病院の経営



医療生協やまがた協立病院

### 宅配事業



組合員から注文いただいた食品、日用品を個人毎に分けてトラックで自宅に配送する。

### 介護施設の経営



6 山形県高齢者福祉生協のヘルパー  
 ステーションこだま

## 高齢者支援の事業

### 移動店舗(せいきょう便)

買物の困難な地域を10台のトラックや軽自動車  
で13市町を週一回巡回。利用者は2021年度で延  
べ62,141人利用高1億2173万円。(開始当初の  
2016年は3台のトラックで3市町村、3658人  
、利用高約6千万円



移動店舗(せいきょう便)

### 御用聞き

生協の店舗のある地域で実施。買物に  
いけない方の登録制。4センターで473人。

### 個人配達

くらしのセンター展開地域で実施。買物い  
ただいた商品の配達。10センターで608人。

### 個配安否確認メール

離れて暮らす組合員へ。登録制。現在30人。

### ・夕食宅配弁当

食事づくりが大変な方へ配食・食事  
サービス。県内24市町村。登録者  
5643人。一日1030食。

生協共立社・・・「夕食宅配弁当」

生活クラブやまがた生協・・・

「ワーカーズManma」

7

## 移動販売車の中はこのようになっています



8

## 医療・福祉・介護事業の取組み

### ◆福祉・介護に取り組んでいる会員

医療生協やまがた、酒田健康生協、山形県高齢者福祉生協、生活クラブやまがた生協、生協共立社

### ◆地域で支える介護予防

- ①たまり場・・・町内会と協力
- ②おたっしや健診・・・  
老化のサインを発見
- ③介護予防や健康づくり



おたっしや健診



介護予防体操

9

## 共済事業

組合員がお金を出し合い、病気や怪我、火災や自然災害で困っている組合員にそのお金を給付する制度

国民共済 こくみん共済coop  
マスコット ピットくん



COOP共済  
マスコット コースケ



学生総合共済 大学生協共済生活協同組合連  
マスコット タヌロー

※2022年10月よりcoop共済と学生総合共済は  
統合しました。



10

## 生協の組合員活動

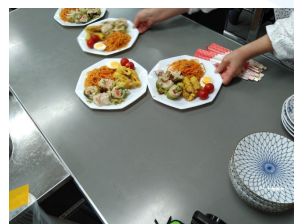
生協は、組合員が利用する事業活動（店舗、宅配、医療、福祉、共済）と一緒に、生協の組合員が自主的に、さまざまな活動を行っています。組合員同士の学びあい、助け合い、生活をよりよくするために行われている活動です。

以下、それぞれの活動を紹介します。

11

## 子ども食堂

みんなの食堂 月1回、組合員の有志が、生協共立社  
コープしろにしセンター(店)の集会室で開催



この他、現在県内20か所以上で、いろいろな団体、個人が中心となり、子ども食堂が運営されている。

現在コロナのため、開催中止や、お弁当の提供に切り替えているところもあります。

12

## フードドライブ社会福祉協議会への贈呈式

天童市社会福祉協議会へのフードドライブ贈呈式

期 日: 2023年11月20日(月)10:00~

会 場: 天童市社会福祉協議会事務所



組合員が宅配利用の時に、自分で消費する以上の食品等を注文しそれを集めて社会福祉協議会に寄付(生協共立社)

13

## フードドライブ

2019年8月29日にユープ すずかわセンターで実施



入口や商品のそばで案内チラシを配りながらフードドライブ協力の呼びかけ



購入した商品を提供いただき、山形市の社会福祉協議会へ贈呈

14



## ユニセフ(国際児童基金)募金の 取り組み

- 1979年 国際児童年にユニセフから I C A (国際協同組合同盟) に協力要請。I C A は
- 1995年 指定募金「インド」
- 2005年 指定募金「ネパール」
- 2014年 指定先「東ティモール」へ
- 2022年 指定先『東ティモール』の他  
ウクライナに緊急募金
- 2023年 指定先『東ティモール』の他  
ウクライナ、シリアトルコ地震に募金







昨年2023年12月コープこぴあ酒田と 新庄での募金活動



昨年2023年11月山大小白川キャンパスでの募金活動

## 平和とよりよき生活のために

平和でなければ暮らしは守れない

1951年 日本生活協同組合連合会 創立宣言

「平和と、よりよき生活こそ生活協同組合の理想であり、最大の使命」



ヒロシマ平和行動



沖縄戦跡・基地めぐり

戦争体験を聞く会



## 第2節

### 新型コロナ感染拡大下の生協の取組みとその後

2020年から新型コロナウイルス感染拡大に伴い、2023年まで、また5類変更後も生協は大きな影響を受けました。

- ・大学生協 購買、食堂の利用は2022年より回復も購買店舗利用が回復しない。物価高、人件費高で経営的に厳しい。
- ・購買生協 2022年よりは戸配の利用が減少、経営的に影響
- ・医療・福祉生協 5類への変更後も、病院、介護施設内での新型コロナクラスター発生で業務が正常にできない状況が続き、経営的に大きな打撃。

### 大学生協(2023年山大生協の例)

- 組合員の声に寄り添い、利用しやすくなる生協、必要とされる生協の取り組み
- ・組合員の意見を反映したおにぎりセットを2023年7月から販売
- ・キッチンカーの導入(小白川、米沢)
- ・農学部農場で栽培しているりんごで新たにシールドル作成し販売
- これまでの枠にとらわれない持病活動・組織活動を創る
- ・SNSを利用した食堂メニューの発信
- ・ICT実態調査アンケート(430名)をもとにしたパソコン活用講座の改革
- ・高校訪問を大幅に増やす(7→16)
- ・卒業&新生活応援フェスタを開催し120名の参加

### 大学生協(2023年山大生協の例)

- 2023年度初の取り組み
  - ・東北ろうきん金融業界セミナー開催
  - ・ヨコタ東北(リサイクル弁当容器工場)見学
  - ・東北電力女川原子力発電所見学

21

### 2023年医療生協・福祉生協では

- ・5類になったもののクラスターや医療、介護スタッフの感染のため、現場がひっ迫
- ・受診、検診利用はもどりつつあるが、診療所、病棟運営を通常でできない事態
- ・看護師等の人材不足
  
- ・介護事業所ではクラスターの発生、職員の感染等で通常の運営ができず、経営を圧迫
- ・看護師、介護師等の人材不足が深刻

22

## 2023年地域生協（共立社・生活クラブ）

- ・前年までの戸別配達の利用激増状態が落ち着く
- ・組合員のいろいろな活動、交流を集合形式で
- ・生協の店舗の利用がコロナ前に戻る
- ・慢性的な人手不足が深刻
- ・人件費、燃料費、物価高で経費増

23

## 共立社 桜田新店舗オープン

2023年11月 山形市南部の桜田地域にオープン



2012年に、震災後の耐震問題で旧桜田店（桜田センター）を閉店してから11年目で新店をオープン

24

## 組合員活動

- ・ 組合員が集まる活動の開催を再開。リモート開催との併用
- ・ 料理教室をYOU TUBEで配信するなどの工夫
- ・ 一部農産物の生産者との交流を再開するところも集まってできないところはWEBで中継して交流
- ・ 組合員同士のオンライン集会の開催を行う生協も

25

## 2023年 職域生協 学校生協

- \*学校生協 小中学校の教職員の利用促進のための学校内での営業活動や対面販売ができるようになったが、利用は感染前に戻らない。
- \*学外での各種展示会を開催できるようになった。

26

## コロナ感染下の生協が事業や活動から学んだこと

- ・WEBを利用した活動により、いままで時間的な制約や地理的な制約で参加しなかった組合員が参加できるようになった、可能性が広がった
- ・反面、高齢者対象にWEB参加するためのサポートの必要性
- ・コロナ感染下でも業務を滞りなくすすめるためDX(デジタルトランスフォーマー)をより一層すすめる必要性
- ・宅配へ利用の集中にこたえるための商品手配の精度向上、各種作業の効率化の必要性(新規の申込を断る必要があったことなどから)

27

## 生協と他の団体との協力

感染拡大などの危機が発生したとき、生協間、協同組合間企業、団体との協力の必要性が浮き彫りになった

(実例) 新型コロナ拡大下で小中学校の休校により、給食で使用できなくなった食材を、生産者の要請で生協で販売

(実例) 運行本数減により、売上が激減した駅弁製造の業者さんの弁当を生協の店舗で販売

(実例) 感染拡大により経営的な困難を被った大学生協への人的支援、経済的な支援

28

## 第3節

### 今生協が抱える課題

- ・ 地域生協の発展期（1980年から90年）をささえてきた組合員の高齢化、後継者への経験の継承
- ・ 高齢組合員の要求に対する実現（デジタル化等）
- ・ 職域生協（大学生協等）の経営改善
- ・ 医療生協、福祉生協の経営改善
- ・ 事業活動のDX化（宅配の商品注文を注文書からタブレット化  
宅配配達ルートを利用するAIを利用して効率化を図るなど）

なんと言っても、生協で働く人の  
確保と育成

29